

《施設のレシピ》仁風学園の人気メニューレシピ! Recipe!

豚バラもやし丼



材料(1人分)

- ごはん 1膳分程度
- 豚バラ肉 70g
- 三温糖 3g(小さじ1)
- みりん 6g(小さじ1)
- うすくちしょうゆ 9g(大さじ1/2)
- A ○料理酒 10g(大さじ2/3)
- にんにく 少量
- ごま油 適量
- もやし 80g
- ごま油 2g(小さじ1/2)
- B ○うすくちしょうゆ 2g(小さじ1/2)
- 食塩 少々
- 錦糸卵 15g
- 小ねぎ 適量
- 白ごま 適量

《作り方》

- ①豚バラ肉を食べやすい大きさに切ります。フライパンにごま油を入れて加熱し、切った豚バラ肉を炒めます。調味料Aを入れてよくからめます。
- ②もやしはゆでて調味料Bと和えます。
- ③丼にご飯、錦糸卵、②、①の順で盛り付け、小口切りの小ねぎと白ごまを適量ふって完成です。

《ひとくちメモ》

仁風学園の子ども達から大人気のメニューです。バラ以外の部位の豚肉や豚小間肉でも美味しく召し上がれます。錦糸卵は手作りのものでも市販のものでもご使用いただけます。エネルギー代謝をサポートするビタミンB1が豚肉には豊富に含まれており、冬の疲労感を軽減するのに役立ちます。

●仁風学園 主任栄養士兼主任児童指導員 松永 美鈴

川崎宗則選手の野球教室!!

7月30日に始良市出身、元メジャーリーガーで現在は栃木ゴールデンブレーブスの選手兼テクニカルアドバイザーの川崎宗則選手が若葉学園に来園し、野球教室や講話をして下さいました。まずは野球教室。子ども達が緊張する中ストレッチが始まりましたが、川崎選手は冗談を交えながらみんなを和ませ、楽しくて面白い人柄に子ども達はすぐに打ち解けることができました。ボールの持ち方を教わりながらキャッチボールをしたり、バットの持ち方も教えてもらったりして、みんな汗だくなるまで一生懸命野球ボールを追いかけて、一緒に楽しんでいました。

その後の講話では、川崎選手の生い立ちや自分の好きなことに対して全力で取り組むという話に子ども達は興味津々。特に「今を大事にしてほしい、今を楽しんでほしい、隣にいる人に優しくしよう」と語りかけたメッセージは、未来ある子ども達に「夢に向かって一生懸命頑張ることが未来につながる」ことの大切さを教えていただきました。最後は職員含め子ども達一人一人に背番号の入った色紙をプレゼントして頂き、川崎選手が帰られた後には子ども達から「ムネリンサイコー!!」といった声がかかれ、とても素敵な思い出になったようです。

●主任児童指導員 平田 悠大



社会福祉功労者厚生労働大臣表彰

- 野口 純仁(川内自興園)
- 山下 とも子(川内自興園)

おめでとう!

鹿児島県社会福祉協議会会長表彰

- 吉元 至子(同胞保育園)
- 原口 洋子(鹿児島みなみ保育園)
- 迫 利恵子(若葉学園)
- 柴山 育子(川内自興園)

鹿児島市社会福祉功労者表彰

- 松尾 ちほみ
(鹿児島みなみ保育園)

鹿児島県社会福祉事業団 永年勤続表彰

- 山本 恭子(同胞保育園)

長きに亘り社会福祉の向上に取り組み貢献したことに對し、その功績が表彰されました。

本誌の掲載につきましては個人情報保護法に基づき本人の承認を得て掲載しています。

飛翔

HISHO

Vol.68

—2025年1月—



タイトル「カーテンを開けると」

全国児童養護施設協議会主催「第44回児童文化奨励絵画展」において、若葉学園の小学6年生が金賞を受賞しました。

【受賞者コメント】建物のところを実際の色ではなく、いろいろな色を混ぜて塗りました。草の部分を細い筆でたくさん色で塗るのも頑張りました。

CONTENTS

理事長あいさつ	P02
【特集】	
事業団の福利厚生について	P04
ねっとわーく～施設の窓から～	P06
ふくしのおしごと・シリーズ人	P10
簡単レシピ 他	P12



社会福祉法人 鹿児島県社会福祉事業団
Kagoshima Social Welfare Service Corporation

〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号 鹿児島県社会福祉センター4階
TEL 099-257-7667 FAX 099-259-3939
E-mail j-office@kagoshima-swc.jp URL https://kagoshima-swc.jp



事業団の現在と未来

理事長 下村 一彦



毎年恒例になりつつありますが、去年の夏はととても暑かった。しかも暑い時期が長い。春と秋はなくなるのか、このままだと日本の南端の鹿児島はどうなるのか、とても不安になる今日この頃であります。皆様は、かの夏をどのように乗りきられたでしょうか。季節は巡り、今年も変わらぬ夏を迎えることになると思いますが、地球にやさしく暮らしていきたいものです。

さて、社会福祉法人鹿児島県社会福祉事業団は、今年で設立63年を迎えます。現在、事業団が設置経営している施設及び事業所は10箇所、管理運営を受託している事業所は3箇所あり、それぞれ、概ね良好に運営できていると考えています。これまで、職員の皆さんが営々と育ててこられた事業団に対する利用者や地域社会の皆様からの信頼を大切にしながら、職員みんなで協力して施設運営に取り組んでおり、利用者の皆様への質の高いサービスの提供などが実践できていると思います。一方、法人の収支状況は、職員の努力によりできる限りの収入確保は図れているものの、人件費の増嵩や物価高騰等の影響による支出の増加が避けられないため、必ずしも楽観できる状況ではないところです。

ここで、事業団の未来について考察します。地域社会のニーズに応じて事業を展開していくという基本姿勢と民間の宿命である事業拡大の方向性は常に頭に入れておくべきだと思っています。幸いにも、事業団は幅広い福祉分野で事業を行っており、広い視野でアンテナを張りやすい有利な立ち位置なので、時機を失することなく、地域社会の役に立てる事業を採算性にも考慮しながら展開していけるのではないのでしょうか。分野別に、まず、児童福祉分野については、子ども達の最善の利益を最優先に、国、県、市の政策動向等を考慮して、児童養護施設の小規模グループケアと地域分散化を進めるとともに里親支援をさらに進める対策が必要だと考えます。また、保育所については、適正な規模の定員への見直しと人員配置基準の改善、何らかの課題を抱える子ども達に適した保育や療育の実施について検討すべきでしょう。女性福祉分野については、措置制度が基本であるため、行政機関との連携を更に緊密にし、福祉施策を必要とする対象者に確実にタイムリーに必要な支援を提供できる体系づくりが大切であると考えます。障害福祉分野で1つだけ課題を挙げると、事業団では高齢者福祉分野の事業が手薄であることも踏まえ、高齢障害者のニーズに対応した体制づくりが優先課題ではないかと思えます。わが国では高齢化の進行が取り沙汰されて久しいですが、障害福祉分野も同様であり、地域社会や障害者支援施設では高齢化が進行しています。この方々のニーズに応えられる事業展開、例えば、高齢の重度障害者に対応できるグループホームの開設や障害者を優先的に受け入れる地域密着型特別養護老人ホーム又は有料老人ホームの開設が考えられます。

いずれにしても、新たに事業を展開するためには、まずは、近い将来を目標に施設整備積立金の積み立てと様々な事業に対応できる専門的なスキルを持った職員の育成を図ることから始めなければなりませんし、併せて、職員が長く働ける就業環境の整備に努める必要があります。全職員で事業団が持続的に発展し、地域社会で更に役立つ法人となれるよう取り組んでいきたいと考えていますので、ご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

終わりに、本年がこの機関誌をお読みいただいている皆様にとって素晴らしい1年となりますようお祈り申し上げて筆を置かせていただきます。

理事会

- 令和6年6月6日
- 議案第1号 令和5年度事業報告について
- 議案第2号 令和5年度計算関係書類及び財産目録について
- 議案第3号 鹿児島県社会福祉事業団定款の一部改正について
- 議案第4号 令和6年度第一次収入支出補正予算について
- 議案第5号 若葉学園大規模修繕工事請負契約に係る入札について
- 議案第6号 評議員会の招集並びに目的である事項等について
- 令和6年7月17日
- 議案第1号 若葉学園屋根・外壁改修工事事後審査型制限付き一般競争入札における落札者の決定について
- 議案第2号 若葉学園屋根・外壁改修工事請負契約の締結について
- 令和6年11月28日
- 議案第1号 令和6年度第二次収入支出補正予算について
- 議案第2号 放課後児童健全育成事業所 同胞学童クラブの開所について

報告

- 議案第3号 鹿児島県社会福祉事業団 職員給与規則の一部改正について
- 議案第4号 鹿児島県社会福祉事業団 契約職員給与規則の一部改正について
- 議案第5号 鹿児島県社会福祉事業団 再雇用職員給与規則の一部改正について
- 議案第6号 鹿児島県社会福祉事業団 非常勤職員給与規則の一部改正について
- 議案第7号 理事候補者の選定について
- 議案第8号 評議員会の決議方法並びに目的である事項等について

評議員会

- 令和6年6月26日
- 議案第1号 令和5年度計算書類及び財産目録について
- 議案第2号 鹿児島県社会福祉事業団定款の一部改正について
- 令和6年12月12日
- 議案第1号 理事の選任について

令和6年度事業団職員研修

階層別研修

経営管理研修

- 【令和6年7月26日】
 (内容)
 1. 理事長講話
 2. 戦略と組織のマネジメントについて
 講師：鹿児島経済研究所 市来 伸一 氏
 ①経営管理者として「あるべき姿」とは
 ②環境分析
 ③経営課題の再確認
 ④問題解決の基本
 ⑤部下育成・指導
 ⑥リスク管理

新任幹部職員研修

- 【令和6年7月8・9日】
 ■1日目
 鹿児島経済研究所 「管理職実力養成コース」受講
 ■2日目
 1. 理事長講話
 2. メンタルヘルスについて
 講師：鹿児島県産業保健総合支援センター 勝田 正志 氏
 3. 人事評価制度について
 4. 財務・会計について
 5. 労務管理の基礎等について
 講師：石塚社会保険労務士事務所 石塚 昭子 氏
 6. 受講者による2分間スピーチ

次世代リーダー研修

- 【令和6年7月19日】
 (内容)
 1. 理事長講話
 2. 財務管理の基本
 3. マネジメント力向上研修
 講師：鹿児島経済研究所 中島 文作 氏
 ①管理職に必要な能力と役割
 ②マネジメントとは
 ③リーダーシップとは
 ④部下育成の基本ステップ
 ⑤問題解決
 ⑥今後実践すべきことを考える
 4. 受講者による1分間スピーチ

新任主査研修

- 【令和6年8月8・9日】
 鹿児島経済研究所「管理職基礎コース」受講

新任主任研修

- 【令和6年8月15日】
 (内容)
 1. 理事長講話
 2. メンタルヘルス(セルフケア)について
 3. 財務・会計の基本について
 4. リーダーシップ養成
 講師：鹿児島経済研究所 政 辰哉 氏
 ①リーダーシップとは何か ②リーダーシップに必要な要素
 ③リーダーシップを発揮するためにどう行動するか ④ケーススタディ
 5. 受講者による2分間スピーチ

新任職員(2年目)フォローアップ研修

- 【令和6年9月20日、27日】
 (内容)
 1. 理事長講話
 2. 先輩職員と語ろう
 3. 社会人基礎力
 講師：鹿児島経済研究所 中木屋 民氏
 ①人生100年時代の「社会人基礎力」とは ②まずは踏み出そう
 ③疑問を持ち、考え抜こう ④仕事はチーム戦
 4. 受講者による1分間スピーチ

新任職員(1年目)研修

- 【令和6年4月8日】
 鹿児島経済研究所 「基礎コース」受講(新卒職員)
 【令和6年4月15日】
 鹿児島経済研究所 「生きる!経験者採用社員」受講
 【令和6年6月17日】 (中途採用職員)
 事業団 施設見学
 (仁風学園・女性自立支援施設・同窓保育園・鹿児島みなみ保育園・母子生活支援施設・ゆすの里・リハステーションゆす・かごしま障害者就業・生活支援センター)

新任職員(1年目)フォローアップ研修(予定)

- 【令和7年2月13日】
 1. 理事長講話
 2. フォローアップセミナー
 講師：フリーアナウンサー 中村 朋美 氏
 3. 人材育成計画について
 4. 1年間の振り返り
 講師：鹿児島経済研究所 江藤 輝 氏
 5. 受講者による1分間スピーチ

契約職員(1・2年目)研修

- 【令和6年10月30日】
 (内容)
 1. 理事長講話
 2. 事業団の概要等について
 3. 「報・連・相」徹底術
 講師：(株)九州経済研究所 野中 千寿 氏
 ①「報・連・相」はなぜ必要? ②意外と知らない「報・連・相」それぞれの意味
 ③事例研究 ④「報・連・相」上手になるための3つの視点
 ⑤「報・連・相」を存分に活用して、仕事を楽しく! ⑥本日の振り返り

内定式・交流会

- 【令和6年11月16日】
 内定式及び施設見学(若葉学園・川内自興園)

事業団の福利厚生について紹介します!

～働きやすい職場を目指して～

事業団では職員が健康で明るく、充実したプライベートを送りながら、安心して職務に精励できる環境を整備するために、多くの福利厚生を行っています。

今回は事業団が行っている福利厚生の中でも、仕事と家庭・プライベートとの両立に活用できる制度について紹介します。

1、仕事との両立に関する福利厚生

特別休暇・祝金制度

当事業団では、「完全週休2日制+祝祭日+年末年始休暇」の休日、入職と同時に付与される年次有給休暇のほかにも、職員がそれぞれのライフステージで心身ともに健康で充実した日々を送れるよう、独自の休暇制度や祝金の制度を設けています。

種類	取得日数・支給金額	対象者
アニバーサリー休暇	1日	全職員
ボランティア休暇	1日	全職員
家族応援休暇	1日	全職員
永年勤続休暇 永年勤続祝金	5日 ※通算労働日数により異なる ●入職後10年：10,000円 ●入職後20年：20,000円 ●入職後30年：30,000円	入職後10年、20年、30年勤続している職員
資格取得助成金	資格取得のために要した経費の一部 (上限50,000円)	職務上関連のある資格を取得した職員 【対象資格】社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、 介護支援専門員、管理栄養士、保育士、公認心理士、調理師

キャリアアップやプライベートの充実に
関する福利厚生

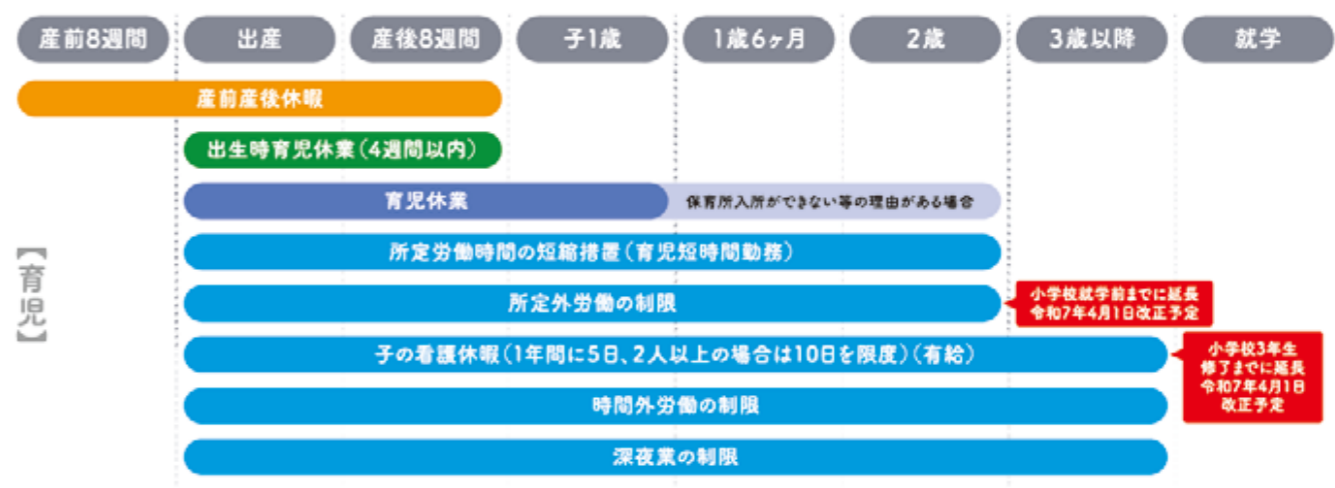
結婚	妊娠	出産	育児
<ul style="list-style-type: none"> ●結婚休暇 入籍後1年以内の職員が取得可能(連続する7日以内) ※取得日数は通算労働日数により異なる ●結婚祝金 在職中に結婚した職員(10,000円) 	<ul style="list-style-type: none"> ●母性健康管理休暇 妊娠中または出産後の女性職員が取得可能(妊婦健診等のための休暇、勤務軽減等の措置) ●つわりによる休暇 つわりのために勤務が困難な職員が取得可能(必要と認める期間) ●産前・産後休暇 出産予定・出産後の女性職員(産前8週間・産後8週間) 	<ul style="list-style-type: none"> ●出産補助休暇 配偶者の出産により、看護・家事等に従事する職員が取得可能(出産後2週間以内の3日以内) ※取得日数は通算労働日数により異なる ●出産祝金 職員または配偶者が子を出産した職員(10,000円) 	<ul style="list-style-type: none"> ●育児時間 生後1年に満たない子を育てる女性職員が取得可能(1日2回、それぞれ30分) ●入学祝金 5,000円(子が小学校、中学校、高等学校に入学した職員)

育児に関する福利厚生
結婚、妊娠、出産

2、育児・介護の支援に関する規則

育児・介護休業法は、育児及び家族の介護を行う労働者の職業生活と家庭生活との両立が図られるよう支援することによって、その福祉を増進するとともに、あわせて、我が国の経済及び社会の発展に資することを目的としています。当事業団でも育児・介護の両立を支援する規則が制定されていますので一覧にまとめてみました。

仕事と育児・介護の両立支援制度



- 介護休業…対象家族1人につき、通算93日。対象家族1人につき、3回まで。
- 介護休暇…1年間に5日、2人以上の場合は10日を限度。(有給)
- 所定外労働の制限 ●時間外労働の制限 ●深夜業の制限
- 所定労働時間の短縮等の措置…1日を通じて30分単位で2時間以内。当該家族1人当たり3年の間で2回まで。

【介護】

【育児】

育児と仕事を両立している様子について、インタビューしました!

かごしま障害者就業・生活支援センター ●主任支援員: 巖野明日香

利用した制度 母性健康管理休暇、産前休暇、産後休暇、育児休業
育児のための所定労働時間の短縮制度、子の看護休暇

ある1日のスケジュール

- 7:15 出発、子ども2人を保育園へ送り
- 8:30 出勤、スケジュール・メール確認、朝礼
- 10:00 就職相談・面談
- 12:00 昼休み
- 13:30 実習訪問
- 14:30 職場訪問
- 16:00 帰所、日誌入力、センター職員からの報告を受ける
- 17:30 退勤
- 18:15 保育園へお迎え
- 18:30 帰宅、家事(夕食づくり等)
- 19:00 家族と食事、子どもとお風呂



①制度を利用してみてどうでしたか?

2人子どもがいますがそれぞれ1歳になるまで育児休業を取得し、子どもの成長を一番近くで見守ることができました。復帰後、久しぶりの仕事と育児の両立ができるのか不安もありましたが、生活リズムを確立するまでの数ヶ月は「育児のための所定労働時間の短縮制度」を活用させていただき、自分や家族が無理することなくフルタイムへ勤務に移行でき、ありがたかったです。

②仕事と子育ての両立で心掛けていることは?

限りある勤務時間の中で、いかに効率よく業務をこなすかを意識しています。実際は突発的な相談や対応のためスケジュール通りにいかないことが殆どですが、夫ともコミュニケーションを取り、残業が必要な時はお互い協力して育児をしています。
また、子どもの体調不良で仕事を休むことになっても業務が滞ることのないよう、日頃から積極的に職場内での情報共有を図っています。併せて規則正しい生活を送り、休みの日は子どもたちと思い切り遊ぶなど、メリハリをつけて公私ともに充実した毎日が過ごせるよう心がけています。

リハステーションゆず ●心理判定兼支援員: 八木通博

利用した制度 出生時育児休業、育児休業

ある1日のスケジュール

- 8:30 出勤後利用者の送迎
- 10:00 利用者らラジオ体操後、本日のスケジュール等を確認する(ミーティング①)
- 11:00 筋トレを用いた訓練を実施(机上課題)
- 12:00 昼休み
- 13:10 利用者と昼の体操(ロコモ体操)
- 13:25 就労に向けた訓練を実施(就労準備訓練)
- 14:30 筋力維持を目的とした訓練を実施(筋力増強訓練)
- 15:20 利用者ら本日の振り返りを行う(ミーティング②)
- 15:45 利用者の送迎
- 17:30 退勤
- 18:00 家族と食事、お風呂



①制度を利用してみてどうでしたか?

私は2か月間、育児休業を取得しました。出産後の妻が退院して自宅に戻ってきてから、ミルクをあげたり、オムツ交換、沐浴、夜泣きした際の抱っこ等、目まぐるしい日々を過ごす中で、自分が父親である事の自覚を持つ事ができました。妻と二人で育児に集中できたあの時間は、非常に貴重な時間だったと思います。

②仕事と子育ての両立で心掛けていることは?

帰宅後や休日に妻と会話したり、育児アプリの日記機能を用いてやり取りをする事で、仕事をしている日中の間、子どもに何があるか、その時妻はどう思ったのか等を共有しています。コミュニケーションを取る事でリフレッシュし、次の日の仕事に取り組んでいます。



今後も利用者の方々や地域福祉の推進のために働いている職員の皆様が、働きやすい職場環境づくりを目指して、日々取り組んでいきたいと思っています。

児童養護施設 仁風学園

錦江湾サマーナイト花火大会招待

8月24日に行われた錦江湾サマーナイト花火大会に、(株)日本衛生センター鹿児島支社様と特定非営利活動法人TONAKAI様から招待いただきました。

子ども達は花火大会を見に行ける事を楽しみにしており、当日はワクワクドキドキがおさまらないようでした。

会場に到着後、花火大会が始まるまでの



間に特定非営利法人TONAKAI様から手持ち花火のプレゼントがあり、子ども達からは嬉しそうに「花火はいつするの?」と質問が飛び交い、「今日は大きな花火を見るから頂いた花火は学園で今度しようね。」と落ち着かせる事でした。

高台にある(株)日本衛生センター鹿児島支社のテラスから見える景色は格別で、花火を見るにも最高の場所で、大きな花火があがると「うわー、きれい。」と子ども達からは歓声が上がりました。花火大会中は、指導員が力を合わせて子ども達に作った唐揚げ、卵焼き、ミートボール、おにぎりのお弁当や、(株)日本衛生センター鹿児島支社様から頂いたごちそうも食べ、お腹も満たされました。その後もヨーヨー釣りをしたり、金魚すくいならぬ玩具すくいをしたりと、とても楽しい時間を過ごすこと



ができ、子ども達の笑顔を見ることができました。

子ども達は沢山の方からのさまざまな招待や寄贈で楽しい活動をさせていただいていることに感謝の気持ちでいっぱいです。

●児童指導員：中尾 小都枝

保育所 同胞保育園

Instagram開設

上町わくわくランド(地域子育て支援センター)の新たな取り組みとして6月からInstagramを発信しています。

職員はSNS投稿の経験がなく、機能の使用方法等、開設当初は苦戦することばかりでした。特に不特定多数の方に情報が開示されるため、個人情報の取り扱いには十分に配慮しながら発信方法を検討しました。

投稿の内容としては、イベントの紹介や施



設の紹介等があります。ストーリー(短時間投稿)の投稿回数を増やし、上町わくわくランドの情報をタイムリーに発信しています。実際の雰囲気を見ることができ、SNSでの情報発信が新規来館者に繋がることも増えてきました。

利用者の方々からは「Instagramの情報がありがたい。」「情報が検索しやすくなった。」等の声も聞かれ、上町わくわくランドのInstagramも少しずつ定着してきているようです。

常日頃から、求められている情報はどのようなものか、利用者の方々の声に耳を傾けています。たくさんの方に情報発信できることを上手く利用し、子育て中の幅広い世代にもっと身近に感じてもらえる上町わくわくランドを目指していきたいです。



●保育士：濱田 真希

児童養護施設 若葉学園

夏休みの出店ご飯!!

待ちに待った夏休みです。コロナ禍による感染対策も緩和された今年の夏は、みんなで集まって楽しめる行事を取り入れようと、8月26日に夏祭り風の出店ご飯を企画しました。

出店ブースは、おにぎり・唐揚げ・たこ焼・ポップコーン・パフェ・その他色々。

調理職員が中心となり、食券作りや食堂を飾り付け、各出店ブースの飾り付けは担当に



なった職員が数日かけて作成しました。

当日は職員の装いにもこだわり、「夏をテーマにした私服」での参加を呼びかけると、ハッピーな雰囲気、パン屋さんの様な姿をした職員もいて、気合い十分です。

昼食時間になり、ザワザワと子ども達が食堂へ食券を持って入って来ました。いつもとは感じの違う食堂にキョロキョロし、落ち着かない様子。

そんな子ども達に職員が一斉にお祭り風の呼び込みをすると雰囲気はバツと変わり、子ども達はそれぞれ好きな食べ物ブースへ。

両手にいっぱい持ちきれないほどの食べ物を持ちながら各ブースを巡る子、一つずつ受け取って、食べ終わってから次を買いに来る子等様々です。



子ども達はお腹いっぱい、笑顔あふれる出店ご飯は、楽しい夏休みの思い出になったと思います。



●栄養士：野田 瑠美

保育所 鹿児島みなみ保育園

月に1度のお楽しみ

鹿児島みなみ保育園では、今年度から4歳児と5歳児の希望者が月に1度セイカスポーツクラブのスイミングに通うことになりました。

子ども達が楽しみに待っていたスイミングの日。まずは全員が怪我なく、楽しく参加できるように園を出発する前に必ずお約束の確認をします。その後、園の職員に元気に「いってきます」の挨拶をして出発!園からセイカスポーツクラブまではバスで向かい



ます。バスに乗るのも新鮮で、ドキドキ、ワクワクの景色を見ながら友達との会話を楽しんでいます。

到着して準備をし、入水します。コーチのお話を聞きながら水の中を歩いたり、顔をつけてみたりしながら少しずつ水に慣れていき、コーチに褒められハイタッチ!楽しそうに水に触れています。中には水が怖くて不安そうな表情の子もいますが、コーチや保育者と一緒頑張っています。頑張ったご褒美にジャグジープールにも入ることができ、大満足な様子でした。

保護者の見学も可能で、見に来てくれる事に気付くと張り切って頑張る姿も。それぞれのペースで水に慣れながら自信をつけていく子ども達の姿を見守り、応援していきたいと思っています。



●保育士：竹下 佳奈

母子生活 支援施設

みんなで作る思い出：ふれあい交流会

夏の名残と秋の訪れが感じられる10月、母子生活支援施設の玄関前ピロティで「ふれあい交流会～バーベキュー大会～」が開催されました。母親14名、児童35名、そして施設の第三者委員を含む地域の方々を迎え、総勢65名が集まり、笑顔溢れる一日となりました。

目玉イベントは特大ビニールプールでのスーパーボールすくい！子ども達は夢中になって水しぶきを上げ、中には、はしゃぎすぎ



て飛び込んでしまう子ども。歓声と笑い声が響き渡りました。

続いてのビンゴ大会では、母親用と子ども用の豪華賞品に、参加者全員が一喜一憂。普段は参加をためらう高校生4名も加わり、会場は多めに盛り上がりました。

そして、最後を飾ったのは高校3年生の男の子を中心としたダンスパフォーマンス。「卒業前に何か記念に残ることをしたい」という彼の発案で、小学生や職員と一緒に何度も練習を重ねました。その成果は見事に花開き、見ている方もうちわや手拍子で応援してください、会場全体が一体となって盛り上がりました。

バーベキューの煙と香りが漂う中、子ども達の笑顔と歓声が響き渡る素敵な一日となりました。この楽しい思い出が、参加者全員



の心に刻まれることでしょう。そして、このような体験を積み重ねていくことが、社会へ旅立つ時の力になるのだと思います。

●支援員：重信 凜

障害者支援施設 川内自興園

ハッピーハロウィーン

川内自興園のハロウィーンといえば「お化け屋敷!!」と言われるほど利用者の方々に大人気の「お化け屋敷」。今年度はクオリティを更に上げて行われました。

今年のお化け屋敷では、業務の合間に職員が着々と準備を進め、ドラキュラ・フランケンシュタイン・ピエロ・アナベル等、たくさんの職員に仮装してもらいました。当日は利用者の方々に希望される方にはメイクや仮装をしていただき、準備万端!!



まずは女性棟利用者の方々から!! お化け屋敷内からは「きゃー」と大きな叫び声と、出てきたときには少し涙目の方も…。男性棟利用者の方々は、叫び声こそ聞こえなかったのですが、後ずさりされる方が多かった様子…。同施設内にあるチャイルドクラブあおぞらの児童は、あまりの恐怖に入り口から動けなくなる方もいました。

それでも参加された皆さん「楽しかった。来年もお化け屋敷してほしい!!」と笑顔で話されていました。

その後は食堂でメイド服に仮装した職員からお菓子とジュースの提供があり、カラオケをしながら召し上がり、笑顔や笑い声が弾けました!!

これからも利用者の方々の心に残る思い出を増やしていきたいと思っています。



●支援員：福永 佑紀

障害者支援施設 ゆすの里

「喫茶ゆす」で心安らぐひと時を

ゆすの里では毎月1回、「喫茶ゆす」という恒例行事を開催しています。正面玄関前のカウンターにて、利用者の方々へコーヒーの提供を行うもので、挽きたての豆を使って、1杯ずつ心を込めて淹れるコーヒーは「とても美味しい」、「何杯でも飲みたい」と大変好評を頂いています。

さらに、「喫茶ゆす」の魅力は美味しいコーヒーだけではなく、ボランティアとしてコーヒーを提供していただいているマスター



ご夫婦との交流も利用者の方々にとって大切な時間となっています。「マスターとのお喋りが好き」、「話す元気ももらえる」といった声が聞かれ、まるでカフェを訪れたかのような落ち着いた雰囲気の中で、心からリラックスできる特別なひと時を過ごしているようです。

また、コーヒーを飲みながら、季節の移ろいも一緒に感じていただけるよう、利用者の方々と協力して、飾り付けを行っています。例えば、5月は鯉のぼり、7月は七夕、9月は十五夜など行事やイベントにちなんだ雰囲気づくりを行い、ささやかではありますが、季節の変化を楽しんでいただいています。

ゆすの里の利用者の方々にとって、「喫茶ゆす」は美味しいコーヒーと温かな触れ合いを通じて、心安らぐ穏やかなひと時を過ごすことができる大切な行事となっています。これ



からも利用者の方々に多くの笑顔を届けられるよう、心を込めたサービス提供を続けていきたいと思っています。



●支援員：篠原 麟太郎

かごしま障害者就業 ・生活支援センター

企業のための障害者雇用セミナー

当センターでは、令和2年度から企業の障害者支援担当者を対象とした「企業のための障害者雇用セミナー」を開催しています。

このセミナーは、企業における障害者雇用管理の課題を共有・相談するための企業担当者等との交流の場を提供し、障害者雇用企業間のネットワークの構築を図ることを目的とするとともに、企業の障害者雇用に関する先



進的な取り組みを共有する事で障害者雇用の促進を図っています。

10月に開催した今年のセミナーには、21社の出席をいただきました。今回は、南九イリヨ株式会社様から「障害者雇用について」、鹿児島障害者職業センター様から「障害のある中高年齢者の職場定着について」、ご講話をいただきました。企業における障害者雇用の

考え方や取り組み、中高年齢障害者に対する雇用の留意点等の話があり、参加者から多くの共感と理解をいただきました。また、情報交換会という形でグループワークも実施し、日頃の悩みや他企業の取り組みなど活発な意見交換がなされ、今後も当センターとともに障害者雇用を進めていきたいとご要望いただき、



大変有意義なセミナーになりました。今後も、障害者雇用の促進、定着に向け、連携を図ってまいります。

●主任支援員：日高 昂平

ふくしのおしごと紹介

当事業団では、各施設で様々な職種の職員が働いています。
今回は、世話人と障害者就業・生活支援センターの支援員の一日に密着してみました!

世話人

勤務地 | 川内自興園 共同生活援助事業所

●川内自興園：井上峰子・濱田良子・平頼子・塩屋幸子



利用者の方々が笑顔で楽しく生活できるように、利用者の話を聞きながら、悩みがないか・いつもと変わった様子がないかを確認するようにしています。また会話の際は、強い口調や、相手の言葉を否定しないような返答に心がけています。

■仕事内容

- 食事支援 ○服薬支援 ○通院支援
- 清掃支援 ○外出支援 ○日誌入力

一日のタイムスケジュール

- 7:30 夜勤者より引き継ぎ
- 8:00 朝食・服薬支援
- 8:30 外部就労者の出勤確認
日誌入力
- 9:15 居室の施設確認
- 9:30 通院支援
- 11:30 休憩
- 13:00 買い物支援
- 15:00 買い物清算確認
日誌入力
- 16:30 勤務終了



支援員

勤務地 | かがしま障害者就業・生活支援センター / はくさつ障害者就業・生活支援センター

●はくさつ障害者就業・生活支援センター：齊藤 美佳



「笑顔」を大切にしています。「笑顔」は事業団理念にありコミュニケーションツールのひとつでもあります。ポジティブな感情を引き出す効果があると心理学でも証明されています。職員間のミラー効果や誰もが「笑顔」で安心して働き続けられることを目標にしています。

※ミラー効果(ミラーリング効果)
相手の身振り・手振りや表情を模倣することで、より共感を得やすくなり、信頼関係の形成につながるポジティブな印象・体験を優位にもたらすとされる技法。

出典：齊藤美佳(2013)「心理臨床場でのノンバーバルスキルに関する実践的検討—カウンスラーのミラーリングが共感の認知に与える影響について—」カウンセリング研究46:83-90



■仕事内容

障害のある方々が身近な地域で、安心した職業生活を送れるよう、関係機関の皆様と連携を図りながら、登録者の方の就職に向けた支援、就職後の職場定着支援を行います。ご本人の努力はもちろんですが、地域の連携が不可欠であり、仕事内容は多岐に渡ります。

センター職員が講師として、各関係機関の方へ業務説明や障害者雇用の理解に向け様々なセミナー等の周知活動も行います。

一日のタイムスケジュール

- 8:30 出勤、清掃
- 8:40 朝礼
- 8:50 メール・日誌・支援実績チェック
- 9:10 職場訪問等の外勤
- 11:50 センター内勤 報告
- 12:00 昼食
- 13:00 電話対応等
- 14:00 新規来所・面談
- 15:00 相談記録・ケース保管処理
- 15:15 同行支援、外勤
- 16:30 事前準備(体験実習等)
- 17:30 退勤



児童養護施設 仁風学園
児童指導員
利川 和樹

①自己紹介をお願いします。

今年度より児童養護施設 仁風学園で勤務をしています、利川和樹です。学生時代は経済学部を専攻していましたが、福祉分野の学部の友人から児童養護施設の話聞いて興味を持ち、施設見学をしたのをきっかけに入職しました。

②今、行っている仕事内容は何ですか？

児童指導員として早出・遅出・平常・宿直の勤務の中で、自立支援計画に基づいた生活支援を中心に業務にあたっています。大変なこともありますが、その子も達の成長を感じられる瞬間や笑顔を見て私自身も元気をもらい、日々の業務に励んでいます。

③学生時代部活動に所属していましたか？

小学3年生から大学4年生までの13年間、剣道部に所属していました。子ども達には剣道経験者ということで戦いを申し込まれることがありますが、まずは礼儀から教えている最中です。今後は遊びを通して剣道を教えていきたいなと思っています。

④趣味は何ですか？

ボウリングが趣味で、最近では最高スコアが259でした。最高スコ

アを更新できるように、挑戦を続けています。

⑤事業団で働いて半年経って…

一番印象に残っていることは、学園行事で子ども達とラウンドワンに行ったことです。私自身がラウンドワンでアルバイトをしていたこともあり、働いていたからこそこれが面白い子ども達に動めることができ、子ども達とたくさん触れ合うことができました。行事の計画を立てる等まだまだ難しいことはありますが、先輩職員に支えて頂きながら子ども達への支援方法を考えて実践しています。子ども達にとって支えとなるように日々の業務に取り組んでいます。

⑥学生の皆さんへ、また入職に興味がある方へ

事業団では様々な福祉分野で働くことが出来ます。私は現在は児童福祉で働いていますが、ゆくゆくは障害福祉にもチャレンジ出来たらと考えております。様々な福祉分野での経験を積めるのも事業団の魅力だと思います。福祉分野に少しでも興味がある方は、ぜひ利用者のために一緒に働きましょう。

【インタビュー】 岩元 智広

1日の勤務の流れ: 遅出業務(平日)

- 14:00 出勤
早出職員から引き継ぎ、連絡会、事務処理
- 15:00 子ども達帰園
学習支援
- 16:00 子ども達との遊び
- 17:00 入浴支援
- 18:00 夕食支援
- 19:00 子ども達との時間(遊び、雑談)
- 21:00 小学生児童の就寝支援
- 22:00 支援日誌入力、中高生児童との時間(雑談)、事務処理
- 23:00 退勤



職場でできる簡単ストレッチ紹介

皆さん、毎日のお仕事お疲れ様です!日々の多忙な業務の中で、腰痛や肩こりなど身体の不調に悩まれている方も多いのではないでしょうか。今回は、仕事のちょっとした空き時間に簡単にできるストレッチをいくつかご紹介いたします。仕事の合間に痛みのない範囲で行って、心と身体をリフレッシュさせましょう!!

実演：理学療法士 上村公子講師、ゆすの里 篠原支援員

腰痛予防のための 腰・太ももの 筋肉のストレッチ



①椅子に腰掛け、背筋を伸ばす。



②上体をゆっくりと前に倒し、両足首を握む。



③お尻を持ち上げ、そのまま10~15秒キープ。
※この時、太ももの裏側や腰の裏側がしっかりと伸びるよう意識する。

肩こり解消のための 肩甲骨周りの 筋肉のストレッチ



①背筋を伸ばし、胸を頭の後ろで組む。



②両腕を斜め上に伸ばし、アルファベットの「Y」の形を作る。肩甲骨を寄せるように意識しながら5秒間キープ。



③両肘を曲げ、アルファベットの「W」の形を作る。肩甲骨をさらに寄せるように意識しながら5秒間キープ。



④両腕を横に伸ばし、アルファベットの「T」の形を作る。②と③と同様に肩甲骨を寄せることを意識しながら5秒間キープ。